



真剣に商品を見定める来場者

9/16 もったいないをなくそう 第23回柳川市リサイクルマーケット

市クリーン連合会は9月16日、市民体育館でリサイクルマーケットを開催しました。これは家庭で使わない不用品を出品し、ごみの減量につなげようという取り組み。市内53の個人や団体が出店した会場には、服や食器、おもちゃなどいろいろなものが並び、約2000人の来場者が訪れました。また同マーケットでは、防虫菊を使って線香をつくる体験コーナーや、地球温暖化防止クイズ、正しいごみ分別の説明なども行われ、大いににぎわいました。

9/20 戦没者をしのび平和を祈念 市戦没者追悼式

市は9月20日、市民会館で戦没者追悼式を開きました。戦後73年目の今年も、遺族や関係者など320人が参列。金子市長の式辞や追悼吟詠などが行われました。追悼の言葉では、市遺族会の野田健介会長が「310万人もの犠牲者を出した、愚かで悲惨な戦争を二度と繰り返さぬよう、次の世代に伝えなければならない」と述べました。その後、参列者が祭壇にキクの花をささげ、戦没者2643柱を追悼。恒久平和を誓いました。



遺族や各種団体の代表が祭壇に献花



顕彰碑の前で檀一雄作詞の歌を合唱する合唱団「うぶすな」

9/23 柳川を愛した直木賞作家をしのぶ 第32回檀一雄文学顕彰祭

小説「リツ子 その愛」「火宅の人」などで知られる直木賞作家檀一雄の文学顕彰祭が9月23日、川下りコース沿いにある新外町の檀一雄柳川文学顕彰碑前で開かれました。昭和62年に顕彰碑が建立されたことをきっかけに始まった顕彰祭は今年で32回目。檀一雄の長男でエッセイストの檀太郎さんも出席し、檀一雄が愛したポルトガルの赤ワイン「ダン」による献酒や献花、檀一雄作詞の歌などの合唱でその業績をしのびました。



表彰を受けた児童たちと有明海漁連の西田会長（中央）

9/29 海苔のおいしさを言葉で表現 有明海と海苔の標語を表彰

県有明海水産会館で、9月29日、「宝の海 有明海」と「福岡有明のり」をテーマにした標語の表彰式が行われました。これは福岡有明海漁連が、本市と近隣3市の小学6年生を対象に地元の海苔のおいしさを知ってもらおうと毎年行っているもの。6回目となる今年も、44校から1577人の応募があり、13人を表彰。本市からは4人が優秀賞に輝きました。入賞した江口優翔君（藤吉小）は「選ばれてびっくりしたけどうれしかった」と喜びを語りました。

10/12 秋の思い出作り ～14 森と水辺のワンダーランド

10月12日～14日、御花や沖端沿い掘割周辺で、「森と水辺のワンダーランド」が開催されました。これは、柳川の美しい自然の中で、ミュージックやシネマ、ピクニックなどを楽しむイベントです。御花の芝生ガーデンでは、夜空の下で楽しめる映画や人気店の集まったマルシェ、掘割でのカヌー体験など、多くのお客様でにぎわいました。また、親子で楽しめるワークショップやモンゴル遊牧民の移住式住居「ゲル」の中でのスパイスカレー料理教室も開催。沖端の掘割のライトアップされた水上ステージでは、舟上から素敵な音楽を楽しめ、とてもロマンチックでした。

中でも子どもたちに一番人気だったのは、メリーゴーランド！訪れていた女の子に話を聞くと、メリーゴーランドが一番楽しかったとのこと。県外から来られた親御さんは、「偶然お隣のかんぼの宿に泊まっており、子どもが遊べる場所が少なかった。おしゃれなイベントで、とてもいい機会でした。また、ぜひ柳川に遊びにきたい」と話していました。

自然の中でのんびりと時間が流れ、まるでおとぎ話の世界に飛び込んだようなひとときでした。



1 水上ステージでのライブ 2 行列が出来るお店も 3 子どもたちに人気だったメリーゴーランド

（取材：ふるさとレポーター古賀理紗）



県教育委員会賞の外尾さん（左）と県知事賞の大村くん

9/14 市内中学生が意見発表で快挙 少年の主張県大会で県知事、県教育委員会賞

第40回少年の主張福岡県大会が9月8日、那珂川市で開かれ、障がいのある妹のこを通して命の尊さを訴えた大村朋生くん（柳南中3年）が福岡県知事賞を、食物アレルギーの経験を通して食のありがたさやすばらしさを発表した外尾日和さん（柳城中3年）が福岡県教育委員会賞を受賞しました。2人は9月14日、金子市長に入賞を報告。大村くんは、11月に東京都で開催される全国大会に県代表として推薦されます。

9/15 これからもお元気で 100歳の山田さんを県知事と市長が祝福

「老人の日」の9月15日、小川県知事と金子市長は100歳になる山田フチエさん（佃町）を表敬訪問しました。小川県知事は「今後もお元気に過ごされてください」と祝福。金子市長は「好物のフライドチキンを食べて長生きしてください」とフライドチキンをプレゼント。山田さんは「ごげん幸せでよかとやろうか」と、にこやかに市長たちとの時間を過ごしました。なお、市内最高齢者は107歳で、市の100歳以上は51人です。



小川県知事（左）と金子市長（右）との会話を楽しむ山田さん